放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日:令和　2年　3月　30日

公表:令和　2年　3月　30日　　事業所名　風の子びれっじ鎌倉　【単位1】

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		状況に応じて多目的室・空き部屋といった別室を使用して いる	室内においてもパーテーションで区切りを作り、室内の構造化を進める
	2	職員の配置数は適切である	○		法令基準は10人に対し2人だが、およそ3人に1人(10人に3人)の職員を配置している	より手厚い人員配置を行えるよう、採用活動を継続して実施していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内の段差はなくし、スロープを設置している	室内の危険個所についても随時点検を実施していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		一週間ごとに振り返り、全社員を通じて共有している	スタッフ間で情報共有出来るよう掲示している。PDCAに関する全体研修を行う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート実施して業務改善につなげている	アンケートでいただいた貴重なご意見を反映し、周知していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公開している	今後も継続して実施していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		客観的に評価をいただけるよう検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		3ヶ月に一度、全体研修・月1で階層別研修・社外研修を実施	研修の様子などもブログ等を通じて公表していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを行い、保護者様と話し合いの上、設定している	都度アセスメントの見直しを行い、不明点があれば保護者様に伺っていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内で標準化したツールを使用	改めて評価ツールの見直しを行い、改善していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		チームで意見を出し合い、立案を行っている	今後もチームで立案を行う。また保護者様のご要望に添えるよう努めていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	行う内容は変化しているが(創作やクッキングで何を作るのか等)、月曜は創作、水曜はクッキングといった流れは固定になっている	定期的に活動の入れ替えを実施したり、長期休みを使用して変化を促していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		季節や長期休暇に応じたイベントなどを設定している	お子様に楽しんでいただけるようなイベントや個々のスキルに応じた課題を設定していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々に合わせた目標を設定させていただき、それに応じた支援を行っている	個々の課題や特性を踏まえた上で個別支援計画を作成し、計画に応じた個別支援を実行していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	当日の利用人数や個々の特性を考慮した配置や役割を決めているが確実に行うことはできていない時もある	打ち合わせ可能な時間帯を確保・設定していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		一日を通して気づいた点などを日々の日報を通じて共有し、上位者に報告している	上位者からのアドバイスを元に改善を行い、そのことについても周知を行っていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		一日を通じてどのように過ごしていたのか、活動はどのように設定されていたのかを記録としてとっている	時間や回数、その時の様子などをより細かく、数値化できるものは数値化し、記録をとっていく

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリング会議を実施している	半年に一度のペースで行っているが、必要があればもっと短い期間で実施していく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		集団・個別活動等、組み合わせて支援を行っている	ガイドラインの共有を新入社員にも行い、チームでガイドラインに則った支援を考えていく

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者及び児童発達支援管理責任者が参加している	担当者が変更になった際も十分なすり合わせを行ったうえで参加をしていく
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		都度、不明点は学校迎えの際、口頭にて確認を行っている	必要であれば電話確認も行うなど、出来るだけ情報の漏れがないよう臨機応変に対応していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在、対象となるお子様はいらっしゃらない 今後検討していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		小学校高学年からなので、それまでの事業所から引き継ぎを行っている	事業所が変更になる場合は、アセスメントシートを活用し、担当スタッフからの引継ぎを実施していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			担当者が集まり引継ぎを行っている	些細な情報も共有できるよう、今後も機会を設けていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		自立支援協議会などを通じて助言、研修を受けている	自立支援協議会に引き続き参加をさせていただき、横の連携を強化していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		月に一度以上は実施しており、全社イベントも行っている	今後も継続して実施していく
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		海部南部自立支援協議会に参加している	今後も引き続き参加をしていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話、メール、連絡帳などでやり取りを行い、送迎時にもお話をさせていただいている	モニタリング、茶話会等の機会を設定し、そこで話し合える時間を設定する
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている		○		まだ不十分な部分だと感じる 若手の職員も多く、十分に対応できているとは言い難い
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にお伝えしている。不明点があれば、お答えさせていただいている	今後も不明点、変更点があれば、都度お伝えしていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時などに伺った事柄に関して、改めて事業所で共有、支援につなげている	不十分な点もあるが、今後より細かく助言と支援ができるよう、研修を実施していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		茶話会を開催している	できるだけたくさんの方に参加していただけるよう開催の頻度も多く設定していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情を受けた際は早急に受付窓口が上位者に報告し、改善を図っている	苦情に関して、社内で周知を行い、それに応じた対応を解決責任者、窓口担当者を中心に実施していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		風の子だよりを作成・SNSを使用し、発信している	どんなことができるようになったのか、という点を意識し、風の子だより、SNSを作成していく
	35	個人情報に十分注意している	○		氏名が書かれてある書類などは必ずシュレッダーにかけている	取り扱いについて、改めて社内で見直しを行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に合わせた連絡方法、手段を用いて情報伝達を行っている	今後も個々に合わせた連絡手段を用いて情報伝達をしていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域交流イベントに参加をしている	スクエアで行うイベントに参加していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	風の子安心安全マニュアルを設定している	マニュアルの改訂、スタッフの周知を行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を行い、ブログなどで周知している	様々なケースや避難ルート、避難方法を実践していく、スタッフもすぐに対応できるよう情報を共有していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		適宜、虐待防止研修を行っている	都度研修に参加、また毎日の振り返りの中でセルフチェックシートを用いて自己を振り返る時間の設定を行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束は行っていない	今後も身体拘束はせず、別アプローチからの支援を心掛けていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		指示書があるお子様についてはそれに応じて対応している	今後も保護者様と情報共有しながらアレルギー物質に関して細心の注意を払っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを作成し、都度記入している	より細かいヒヤリハットも収集し、大きな事故に対する未然防止策を策定していく。また定期的に見直す機会を設けていく